

東京2020オリンピック競技大会のマラソン及び競歩の

変更に関する計画について

令和元（2019）年10月16日、IOCがオリンピックのマラソン及び競歩を札幌へ変更する計画を発表した。概要等は以下のとおり。

1 IOCが発表した計画の概要

- ・オリンピックのマラソン及び競歩を1972年冬季大会の開催都市である札幌へ変更することを計画している。
- ・東京から800km以上北に位置する札幌では、東京よりも大会期間中における日中の気温が5～6度程度低くなる。
- ・マラソン及び競歩を変更する計画の実現については、ジョン・コーツ氏が委員長を務めるIOC調整委員会（10月30日～11月1日開催予定）の会議において、暑さ対策の特別セッションを設ける。

2 経緯

- ・9月27日 第17回世界陸上競技選手権大会（世界陸上2019ドーハ）
～10月6日 マラソン…男子10月5日、**女子9月27日** → 暑さのため
競歩50km…男子9月28日、女子9月28日 約4割が棄権
競歩20km…男子10月4日、女子9月29日
- ・10月15日 組織委員会から東京都へ連絡
- ・10月16日 IOCプレス発表「オリンピックのマラソン・競歩を札幌へ変更する計画」
- ・10月23日 IOCに資料を要求
IOCの決定の経緯、ドーハと東京の比較と提案の科学的な根拠及びその客観的な判断理由、札幌を選んだ理由、議論に用いられたデータ等
- ・10月25日 知事とコーツ IOC調整委員会委員長等の面会
- ・10月30日 IOC調整委員会 会議開催（予定）
～11月1日

3 東京・札幌・ドーハの暑さ比較について

(1) 気温

女子マラソン (8月2日6時スタート予定)

東京：6時	25.6℃	7時	26.5℃	8時	28.1℃
札幌：6時	21.9℃	7時	23.2℃	8時	25.0℃
ドーハ：23時55分	32.9℃ (スタート)	3時	31.3℃ (ゴール)		

男子マラソン (8月9日6時スタート予定)

東京：6時	26.4℃	7時	27.3℃	8時	28.7℃
札幌：6時	21.4℃	7時	22.0℃	8時	22.3℃
ドーハ：23時55分	30.2℃ (スタート)	2時45分	29.1℃ (ゴール)		

男子50km競歩 (8月8日5時30分スタート予定)

東京：5時	25.7℃	6時	26.0℃	7時	26.6℃	8時	26.6℃	9時	27.3℃
札幌：5時	21.3℃	6時	21.4℃	7時	22.3℃	8時	23.4℃	9時	24.5℃
ドーハ：23時32分	32.0℃ (スタート)	3時30分	30.3℃ (ゴール)						

(2) 暑さ指数 (WBGT)

女子マラソン (8月2日6時スタート予定)

東京：6時	25.0℃	7時	25.9℃	8時	27.5℃
札幌：6時	20.9℃	7時	23.1℃	8時	24.2℃
ドーハ：23時55分	29.8℃ (スタート)	3時	29.2℃ (ゴール)		

男子マラソン (8月9日6時スタート予定)

東京：6時	24.9℃	7時	26.5℃	8時	27.6℃
札幌：6時	19.8℃	7時	20.2℃	8時	20.8℃
ドーハ：23時55分	24.2℃ (スタート)	2時45分	23.1℃ (ゴール)		

男子50km競歩 (8月8日5時30分スタート予定)

東京：5時	24.2℃	6時	24.8℃	7時	25.7℃	8時	25.9℃	9時	26.3℃
札幌：5時	19.4℃	6時	19.9℃	7時	21.4℃	8時	22.5℃	9時	22.9℃
ドーハ：23時32分	29.1℃ (スタート)	3時30分	28.2℃ (ゴール)						

※暑さ指数 (WBGT) とは、人体と外気との熱のやりとり (熱収支) に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい ①湿度、②日射・輻射など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標

※東京・札幌は、過去5年間の平均値

※ドーハは、世界陸上2019の時の数値 (IOC提供)

4 これまでの暑さ対策の主な取組について

<ハード対策>

遮熱性舗装、樹木の剪定による緑陰の確保

テストイベントにおける休憩所（テント、ウォーターサーバー等）、救護所、極微細ミスト、散水チューブ等の設置

<ソフト対策>

テストイベントにおけるネッククーラー、うちわ、扇子等の配布、シティキャストの適切な活動時間の検証等

<競技開始時間の変更>

マラソン（7時→6時）、男子50km競歩（6時→5時30分）など

5 地元自治体の主な意見

- ・青天の霹靂で驚いており、怒りを禁じえない。東京で開催すべきである。
- ・当然、東京で開催すべきである。もともと夏の開催が前提だったのに、今更何を言っているのか。
- ・深夜開催なども含め、東京で考えられる対策はある。客観的なデータに基づいた議論が必要だ。
- ・これまで、地元町会、企業などと連携して、全力を挙げて協力してきている。ミストの設置やトイレの改修など、多額の公金を投入しており、移転は都民の納得を得られない。
- ・楽しみにしている子供たちの夢を大人の都合で奪うことになる。

6 都に寄せられた主な意見等

(1) 都への意見等の概要（詳細は参考資料6参照）

- ・10月24日までに、都に寄せられた意見は、741件
- ・このうち、賛否に関連する意見は417件で、約88%（368件）が反対の意向を示す意見
- ・反対の主な理由は、「東京でマラソンをみたい」「都の税金やテストイベントが無駄になる」「選手は新国立でのゴールを望んでいるだろう」「開催時間を前倒しすべき」など

(2) 都民アンケート調査の概要（詳細は参考資料7参照）

- ・10月22日から23日にかけて、20歳以上の都民を対象に、インターネット調査を実施
- ・主な内容は以下のとおり
 - マラソン・競歩の会場を東京から札幌に変更することをどう思いますか
賛成：35.5% 反対：32.0% どちらでもない：32.5%
 - 今回の会場変更に関するプロセスは妥当だと思いますか
妥当である：10.8% 妥当ではない：76.0%
どちらでもない：13.2%

International Olympic Committee Press Release

16 OCT 2019

International Olympic Committee announces plans to move Olympic marathon and race walking to Sapporo

Cooler conditions for these endurance events are part of comprehensive measures to protect athletes, officials and spectators during the Olympic Games Tokyo 2020.

The International Olympic Committee (IOC) today announced that it is planning to move the Olympic marathon and race walking events to Sapporo, the host city of the Olympic Winter Games 1972. The move to Hokkaido, the northern-most prefecture of Japan, will mean significantly lower temperatures for the athletes during the Olympic Games. In Sapporo, temperatures during the Games period are as much as five to six degrees centigrade cooler during the day than in Tokyo, which is more than 800 kilometres further south.

The plans are part of a wide range of measures already being taken by Tokyo 2020 in consultation with the IOC and the International Federations to mitigate the effects of the temperatures which may occur next summer. The IOC has informed World Athletics about the proposed changes.

This latest initiative by the IOC and Tokyo 2020 comes on top of other heat countermeasures which are already planned and being implemented on the recommendations of the IOC Medical and Scientific Commission Adverse Weather Impact Expert Working Group (the IOC Working Group). They are:

- Athletics: 5,000m and longer distance races scheduled in the evening athletics sessions and not in the morning sessions, and moving the marathon and race walk events to earlier starting times.
- Rugby: all morning games scheduled to finish before 12 p.m.
- Cycling: mountain bike start time delayed to 3 p.m.

The IOC Working Group identified the marathon and race walk as the events that would put particular heat stress on the athletes.

Regarding other events and competitions, the IOC Working Group concluded previously that the timing of those events should be kept under review and may not need to be changed at this moment, assuming that the prevention, mitigation and treatment measures it recommended for each event and each group (athletes, workforce, officials and spectators) are implemented.

Many of these measures have been trialled in test events this summer. These include better shade, water sprays, better access to water supplies and an initiative to help the athletes in their preparations via detailed information on Athlete365.

The implementation of the initiative to move the marathon and the race walks will be discussed with all the stakeholders concerned, in particular the host city Tokyo, along with World Athletics, the National Olympic Committees (NOCs), Olympic Broadcasting Services (OBS) and the Rights-Holding Broadcasters (RHBs). The IOC Coordination Commission for Tokyo 2020, chaired by IOC Member John Coates, has dedicated a special session in its meeting from 30 October to 1 November in Tokyo to heat countermeasures.

During its meeting, the Coordination Commission will also have the opportunity to discuss the survey by Tokyo 2020 of the International Federations and their advice regarding heat countermeasures. As part of its athlete-centred approach, the Organising Committee has reached out to each International Federation with a heat countermeasure questionnaire on top of the many measures already taken.

Heat was already taken into consideration when Tokyo presented its candidature in 2013, and since then the IOC and the Organising Committee have continued to monitor the situation. The measures proposed today, and those already adopted, take the changing landscape into account as the IOC continues to put athlete health and performance at the heart of its decision-making.

IOC President Thomas Bach said: “Athletes’ health and well-being are always at the heart of our concerns. A range of measures to protect the athletes have already been announced. The new far-reaching proposals to move the marathon and race walking events show how seriously we take such concerns. The Olympic Games are the platform where athletes can give ‘once-in-a-lifetime’ performances, and these measures ensure they have the conditions to give their best. I would like to thank World Athletics, and we look forward to working with them on the implementation.”

World Athletics President Sebastian Coe said: “We have been working closely with the IOC and Tokyo 2020 on the potential weather conditions at next year’s Olympic Games and will continue to work with the IOC and Tokyo 2020 on the proposal to move the road events to Sapporo. Giving athletes the best platform for their performances within the environment they are in is central to all major events, and we will work with the organisers to create the very best marathon and race walk courses for next year’s Olympic Games.”

※IOC ホームページより引用

“International Olympic Committee announces plans to move Olympic marathon and race walking to Sapporo” (参照日：2019年10月16日)

<https://www.olympic.org/news/international-olympic-committee-announces-plans-to-move-olympic-marathon-and-race-walking-to-sapporo>

IOC がオリンピックのマラソン・競歩を札幌へ変更する計画を発表

東京 2020 オリンピック期間において、これらの耐久力が必要な種目へのより涼しい環境は選手、大会関係者、観客を守るための総合的な対策の一部である。

IOC は、本日、オリンピックのマラソン・競歩を 1972 年冬季大会の開催都市である札幌へ変更することを計画していると発表した。日本の最北である北海道への変更は、大会期間中、選手にとって著しく低い気温になることを意味する。東京から 800km 以上北に位置する札幌では、東京よりも大会期間中における日中の気温が 5~6 度程度低くなる。

計画は、来夏に起こりうる気温の影響を和らげるために、東京 2020 組織委員会が、IOC、IF（国際競技連盟）と協議の上、既の実施している様々な取組の一部である。IOC は IAAF（国際陸上競技連盟）に変更の提案について通知している。

この最新の取組は、IOC ワーキンググループ（IOC Medical and Scientific Commission Adverse Impact Expert Working Group）の推奨のもと IOC と組織委員会が既に計画、実行している以下の暑さ対策に加えて行われるものである。

陸上：5000m 以上の距離のレースは、朝ではなく、夕方のセッションに予定されている。そしてマラソン・競歩の開始時間を早くした。

ラグビー：すべての朝の試合は正午までに終了する。

自転車：マウンテンバイクは開始時間を午後 3 時まで遅らせる。

IOC ワーキンググループはマラソン・競歩を、特に選手を暑さのストレスにさらす種目とみなした。

IOC ワーキンググループが各種目、各グループ（選手、ワークフォース、大会関係者、観客）に推奨した予防策・改善策・対応策が行われると仮定して、他の種目と競技について、IOC ワーキンググループはこれらの競技種目の時間について調査を続けるべきであり、現時点では変更する必要がないと過去に結論づけた。

これらの対策のうち多くのものは、今年の夏、テストイベントで試行された。これらには、日かげを作ること、散水、給水場所へのより良いアクセス、“Athlete365” 上の詳細な情報を通じて選手の準備を援助する取組が含まれている。

マラソン・競歩を変更する計画の実現については、すべてのステークホルダー、特に開

催都市である東京都、そして IAAF（国際陸上競技連盟）、NOC（各国オリンピック委員会）、OBS（オリンピック放送機構）、RHB（放送権者）の間で議論される。ジョン・コーツ氏が委員長を務める、東京 2020IOC 調整委員会は、10 月 30 日から 11 月 1 日に開催予定の会議において、暑さ対策の特別セッションを設ける。

会議期間中、調整委員会は、組織委員会が実施した暑さ対策に関する IF からの意見をまとめた調査について議論する機会がある。アスリートファーストの視点から、組織委員会は、既に着手している数多くの取組に加えて、各 IF に対して暑さ対策についてのアンケートを実施している。

暑さについては 2013 年の東京の立候補時点から考慮されており、それ以来 IOC と組織委員会は状況を確認し続けてきた。IOC は選手の健康とパフォーマンスを意思決定の中心に据えながら、今回の提案及び今までの対策について、状況を変化させることを考慮している。

IOC 会長トーマス・バッハ氏は次のように述べた。「選手の健康と幸福は常に我々の関心の中心である。選手を守るための様々な対策をこれまでも公表してきた。今回のマラソン・競歩を変更するという影響力の大きい提案は、我々がそのような関心についていかに真剣に考えているかを示している。オリンピックは選手が一生に一度のパフォーマンスを発揮する場であり、このような取組は選手がベストパフォーマンスを発揮できる環境を確実にするものである。私は IAAF（国際陸上競技連盟）に感謝し、彼らとともに実施に向けて協力していくことを楽しみにしている。」

IAAF（国際陸上競技連盟）会長セバスチャン・コーは次のように述べた。「我々は、来年のオリンピックの気象状況について、IOC や組織委員会と密接に連携してきた。そして、両種目を札幌に移す提案についても、引き続き IOC と組織委員会と協力して進めていく。アスリートにベストパフォーマンスを発揮できる環境を提供することはすべての主要な大会にとって重要であり、主催者と協力し、来年のオリンピックでも最高のマラソン・競歩コースを創り上げていく。」

※IOC プレスリリースをオリンピック・パラリンピック準備局が参考和訳

“International Olympic Committee announces plans to move Olympic marathon and race walking to Sapporo”（参照日：2019 年 10 月 16 日）

<https://www.olympic.org/news/international-olympic-committee-announces-plans-to-move-olympic-marathon-and-race-walking-to-sapporo>

IOC調整委員会委員長等との知事面会について

1 日時

令和元年10月25日（金） 15時30分から17時まで

2 場所

東京都庁第一本庁舎 7階中会議室

3 面会者

第32回オリンピック競技大会（2020/東京）調整委員会

ジョン・コーツ 委員長

アレックス・ギラディ 副委員長

東京都 小池 百合子 知事

多羅尾 光睦 副知事

宮地 美陽子 政務担当特別秘書

潮田 勉 オリンピック・パラリンピック準備局長

4 主な発言等

ア 小池知事

- ・ IOCの発表に対する驚き
- ・ 都民への説明責任
- ・ 東京でマラソン・競歩を行うという気持ちに変わらない

イ ジョン・コーツ委員長

- ・ 東京からマラソン・競歩を移転する理由
- ・ 札幌で開催する理由
- ・ 表彰式等について

ウ その他意見交換

- ・ いつ、誰が、どのようにして変更案を検討したのか
- ・ 東京とドーハの暑さの比較

など



INTERNATIONAL OLYMPIC COMMITTEE

Meeting with Governor Koike

25/10/2019

1



- **Marathon/Race Walk in numbers**
- **Look back at Doha World Championships**
- **Doha in numbers, performances, images and in the media**
- **Why promoting earlier start times would not work**
- **Why Sapporo made sense**
- **How Doha compares to Tokyo**
- **How Sapporo compares to Tokyo**
- **Opportunities**

2

Marathon and Race Walk in numbers



- 5 events in total, representing 320 to 340 athletes (depending on number of athletes competing in both 20k and 50k Race Walk)
- Competitions are due to take place on
 - July 31 Men's 20k Race Walk
 - Aug 2 Women's Marathon
 - Aug 7 Women's 20k Race Walk
 - Aug 8 Men's 50k Race Walk (No Olympic Women's 50k event)
 - Aug 9 Men Marathon

Look back at Doha World Championships



- Overall successful with remarkable Athletic performances within the air-conditioned stadium
- Outside of the stadium, serious issues have been faced for Marathon and Race Walk events

Doha in numbers



Marathon Men (29C / WBGT 23.5C)

Year	Winner (PB)	Winning time	% of DNF
2019 Doha	Lelisa DESISA (2:04:45)	2:10:40	24.7% (18 out of 73)
2017 London	Geoffrey Kipkorir KIRUI (2:06:27)	2:08:27	27.0% (27 out of 100)
2015 Beijing	Ghirmay GHEBRESLASSIE (2:07:46)	2:12:28	37.3% (25 out of 67)
2013 Moscow	Stephen KIPROTICH (2:06:33)	2:09:51	25.2% (18 out of 70)

20 Kilometres Race Walk Men (32C / WBGT 30.6C)

Year	Winner (PB)	Winning time	% of DNF
2019 Doha	Toshiyuki YAMANISHI (1:17:16)	1:29:34	13.0% (7 out of 54)
2017 London	Eider AREVALO (1:18:53)	1:18:53	4.7% (3 out of 64)
2015 Beijing	Miguel Ángel LÓPEZ (1:19:14)	1:19:14	9.8% (6 out of 61)
2013 Moscow	Aleksandr IVANOV (1:19:45)	1:20:58	7.8% (5 out of 64)

50 Kilometres Race Walk Men (31C / WBGT 28.1C)

Year	Winner (PB)	Winning time	% of DNF
2019 Doha	Yusufu SUZUKI (3:33:07)	4:04:20	30.4% (14 out of 46)
2017 London	Yohann DINIZ (3:32:33)	3:33:12	12.24% (6 out of 49)
2015 Beijing	Matej TÓTH (3:34:38)	3:40:32	16.7% (9 out of 54)
2013 Moscow	Robert HEFFERNAN (3:37:54)	3:37:56	9.8% (6 out of 61)

Marathon Women (32C / WBGT 29.5C)

Year	Winner (PB)	Winning time	% of DNF
2019 Doha	Ruth CHEPNGETICH (2:17:08)	2:32:43	40.0% (28 out of 70)
2017 London	Rose CHELIMO (2:22:51)	2:27:11	14.1% (13 out of 92)
2015 Beijing	Mare DIBABA (2:19:51)	2:27:35	19.4% (13 out of 67)
2013 Moscow	Edna Ngeringwony KIPLAGAT (2:19:50)	2:25:44	31.9% (23 out of 72)

20 Kilometres Race Walk Women (31C / WBGT 28.9C)

Year	Winner (PB)	Winning time	% of DNF
2019 Doha	Hong LIU (1:24:38)	1:32:53	6.7% (3 out of 45)
2017 London	Jiayu YANG (1:25:34)	1:26:18	3.3% (2 out of 61)
2015 Beijing	Hong LIU (1:24:38)	1:27:45	2.0% (1 out of 50)
2013 Moscow	Elena LASHMANOVA (1:23:39)	1:27:08	1.6% (1 out of 62)

Legend: Largest PB data Largest DNF %

Note: All competitions started around midnight. These figures do not include DNS or DSQ

5

Doha in numbers



- **68** athletes at start of Women Marathon event while only **40** finished; **16** did not make it half-way;
- **39** athletes were brought to medical tent;
- Across **5** of the **6** events, average DNF % was significantly higher than previous **3** World Championships, often twice as many.

6

Doha in performances



- Winner of Women Marathon ran **15** minutes slower than her Personal Best (PB); only **7** athletes ran under **2h40**;
- Across **5** events, only **1** PB was recorded;
- Across **5** events, winners ran **10%** slower than their PB and **7%** slower than previous **3** World Championships;
- Across **5** events, significantly less season best performances were recorded in Doha (**16**) than previous World Championships (London **84**, Beijing **45**, Moscow **76**).

Doha in images



Doha in images



Doha in images



Doha in images



Doha in the media



“People could have died in such weather conditions”

Haile Gebreselassie, Former Marathon World Record Holder

“It’s disrespectful to the athletes”

Volha Mazuronak, BLR, Women Marathon 5th place

“I am disgusted with the conditions”

Yoan DINIZ, FRA, Race Walking 50 km World Champion



**This is not how we all want
Tokyo 2020 to be remembered**

**We have already brought forward the
start times as follows:**



M / W Marathon	7:00 to 6:00
M 50k Race Walk	7:00 to 5:30
M / W 20k Race Walk	7:00 to 6:00

Why promoting earlier start times would not work



- Discussions which took place around earlier start times for a number of events were very complicated and identified numerous operational challenges that were becoming particularly significant prior to 5h30;
- Athlete-first concept not delivered if it requires athletes to run in the middle of the night across empty streets;
- Credibility of organisers and the Games would be challenged by such a decision, similarly to what happened in Doha;
- Images would be of poor quality with no opportunity to showcase the city and impossibility to use helicopters to cover the races before sunrise.

Why Sapporo made sense



- Shocking scenes in Doha in similar climatic conditions to Tokyo; athletes' performance severely impacted.
- Maximum, minimum and average temperatures in Sapporo significantly lower than Tokyo in August on average (3-4C) and for peaks (6-8C) – see next slide
- Most northern location with Olympic Games Competitions, already planned within the City, offering a number of operational efficiencies
- Established international Marathon competed each year during the month of August

Why Sapporo made sense



Climate data in August (1981-2010) for Tokyo and Sapporo		
City	Sapporo	Tokyo
Record high °C (°F)	36.2	39.1
Average high °C (°F)	26.4	30.8
Daily mean °C (°F)	22.3	26.4
Average low °C (°F)	19.1	23
Record low °C (°F)	5.3	15.4
Average relative humidity (%)	75	73

Source: Japan Meteorological Agency (records 1972-present) and Weather Atlas

August average maximum temperature

Tokyo

2017	30.4
2018	32.5
2019	32.8

Sapporo

2017	24.8
2018	24.7
2019	25.8

Subsequent confirmations



How Doha compares to Tokyo



The Wet Bulb Globe Temperature (WBGT) is a measure of the heat stress, which takes into account: temperature, humidity, wind speed, sun angle and cloud cover (solar radiation).

How Doha compares to Tokyo



The WBGT coding system described in the IAAF Medical Competition guidelines indicates that :

WBGT	Index Flag	Recommendation
Over 28C	Black Flag	Consider rescheduling the event until safer conditions prevail; if the event must take place, be on high alert
Between 23C and 28C	Red Flag	Everyone should be aware of injury potential; individuals at risk should not compete

How Doha compares to Tokyo



Doha

Events	Average WBGT
Men 20k Race Walk	28.9
Women 20k Race Walk	30.6
50k Race Walk	28.1
Men Marathon	23.5
Women Marathon	29.5

Tokyo

Year	WBGT
2017 and 2018	27 to 31
2019	28 to 32

Competing conditions are very similar between Doha and Tokyo

How Sapporo compares to Tokyo



Tokyo

Year	WBGT
2017 and 2018	27 to 31
2019	28 to 32

Sapporo

Year	WBGT
2017	26 to 27
2018	20 to 24
2019	25 to 28

Sapporo is consistently 3 to 4C WBGT below

Opportunities



- Parade of athletes who did not compete in Tokyo which will have an opportunity to cross the city on their way to the Closing Ceremony and be celebrated by the citizens of Tokyo;
- Tokyo could be the first Games where Men and Women Marathon Medal Ceremonies take place during the Closing Ceremony; Race Walk Medal Ceremonies could take place during Athletic sessions;
- IOC to support Governor Koike and TMG to identify and implement other initiatives which benefit citizens of Tokyo and particularly in wards no longer hosting the Marathons and Race Walks.





Thank you

知事と IOC 調整委員会委員長等との面会時の説明資料（和訳）

1

小池知事との会談

2

- ・ 数値で見るマラソンと競歩
- ・ ドーハの世界陸上を振り返って
- ・ ドーハ大会を数値、成績、写真、及び報道で見る
- ・ なぜ開始時間を早めても意味がないか
- ・ なぜ札幌が理にかなっているか
- ・ ドーハと東京の比較
- ・ 札幌と東京の比較
- ・ 機会

3

数値で見るマラソンと競歩

- ・ 計 5 種目、320 から 340 人の代表選手
（20キロと50キロ競歩の両方に参加する選手の数による）
- ・ 競技日程
 - 7月31日 男子20キロ競歩
 - 8月2日 女子マラソン
 - 8月7日 女子20キロ競歩
 - 8月8日 男子50キロ競歩（オリンピック女子50キロ種目はない）
 - 8月9日 男子マラソン

4

ドーハの世界陸上を振り返って

- ・ 空調管理されたスタジアムでは、優れた競技パフォーマンスが発揮され全体的に成功
- ・ スタジアムの外では、マラソン・競歩種目は深刻な課題に直面した

5

6

数値で見るドーハ大会

- ・女子マラソンでは68名の選手がスタートし40名のみが完走、16名は中間地点に到達しなかった
- ・39名が医療テントに運ばれた
- ・6種目中5種目において途中棄権（DNF）率は過去3大会より非常に高く、多くの過去大会の約2倍であった

7

ドーハ大会の成績

- ・女子マラソン優勝者は自己ベストより15分遅く完走、7名の選手のみが2時間40分以内に完走
- ・5種目において、1種目のみで自己ベストを記録
- ・5種目において、優勝者は自己ベストより10%遅く、過去3大会より7%遅い
- ・5種目において、過去大会に比べて非常に少ないシーズンベストが記録された（ドーハ16、ロンドン84、北京45、モスクワ76）

8

9

10

11

ドーハ大会の写真

12

ドーハ大会についての報道

- ・「このような天候条件では人々が死んでいたかもしれない」
Haile Gebresselassie 前マラソン世界記録保持者
- ・「選手に対して無礼だ」
Volha Mazuronak（ベラルーシ）女子マラソン5位
- ・「このコンディションにうんざりだ」
Yoan DINIZ（フランス）競歩50キロ世界チャンピオン

13

東京2020大会をこのように記憶されたくない

14

すでに開始時間を下記のように早めた

男子／女子マラソン	7：00から6：00
男子50キロ競歩	7：00から5：30
男子／女子20キロ競歩	7：00から6：00

15

なぜ開始時間を早めても意味がないか

- ・数多くの種目の開始時間を早めることに伴う議論は非常に複雑で、いくつも運営上の困難を認識した
その困難は5時30分よりも前倒しにするとより顕著になる
- ・真夜中に誰もいない路上をアスリートに走らせることは、アスリートファーストのコンセプトが実現できない
- ・そのような（開始時間を早めるという）決定は、ドーハで起きたことと同様に、主催者と大会の信用が問われる
- ・日の出前では、都市をアピールする機会がなくなり、ヘリコプターを飛ばしてレースを取材できないため、良い画が撮れない

16

なぜ札幌が理にかなっているか

- ・衝撃的な光景だったドーハと東京の気象条件は類似、アスリートのパフォーマンスに深刻な影響を与えた
- ・8月の札幌における最高、最低及び平均気温は、平均で3－4度、ピークでは6－8度と東京に比べて非常に低い
次スライドを参照
- ・オリンピック競技の中で最北に位置する地は、すでに市の中で計画され、様々な運営の効率化をもたらす
- ・毎年8月に国際マラソン競技が開催されている

17

なぜ札幌が理にかなっているか

東京と札幌の8月の気候データ（1981－2010）

最高気温

平均最高気温

平均気温

平均最低気温

最低気温

平均湿度

8月の平均最高温度

18

追加の確認

19

ドーハと東京の比較

暑さ指数（WBGT）は、気温、湿度、風速、太陽の角度及び雲量（太陽放射）をもとに熱性ストレスを計測する指標である

※訳注：気象庁の定義とは異なる

20

ドーハと東京の比較

IAAF医療ガイドラインに記載された暑さ指数コーディングシステムは以下のとおり

暑さ指数 インデックスフラッグ 推奨

28度以上 黒

安全な状態が確保されるまで競技日程の変更を検討すべき

仮にイベントを実施する必要がある場合は、警戒態勢をとる

23度から28度 赤

全員が負傷の可能性を認識すべき

リスクのある者は参加すべきでない

21

ドーハと東京の比較

ドーハ

種目 平均暑さ指数

男子20キロ競歩

女子20キロ競歩

50キロ競歩

男子マラソン

女子マラソン

東京

年 暑さ指数

ドーハと東京の競技環境は非常に類似している

22

札幌と東京の比較

札幌は一貫して暑さ指数が3から4度低い

23

機会

- ・東京で競技を実施していない選手にとって、閉会式に向けて東京をパレードし、都民に祝福される機会になる
- ・東京大会が、閉会式と同時に男子や女子マラソンの表彰式をする初めての大会となる
競歩の表彰式は陸上競技のセッション中に行うことができる
- ・I O Cは小池知事と東京都をサポートし、都民や特にマラソンや競歩の開催地でなくなった区市町村にとって、利益のある取組を見つけ実施できるようにする

東京2020大会マラソン・競歩変更計画案に対する都への意見等 (10月17日～24日累計)

【件数・内訳】

※10月24日17時時点

	電話	メール・書面	計	全件数に 対する割合
賛否の意向を 示す意見	241件	176件	417件	(56.3%)
うち賛成意向 (賛否割合)	31件 (12.9%)	18件 (10.2%)	49件 (11.8%)	(6.6%)
うち反対意向 (賛否割合)	210件 (87.1%)	158件 (89.8%)	368件 (88.2%)	(49.7%)
その他意見 問合せ	106件	218件	324件	(43.7%)
計	347件	394件	741件	(100.0%)

※オリンピック・パラリンピック準備局及び関係局受付意見の集計

【主な意見等】

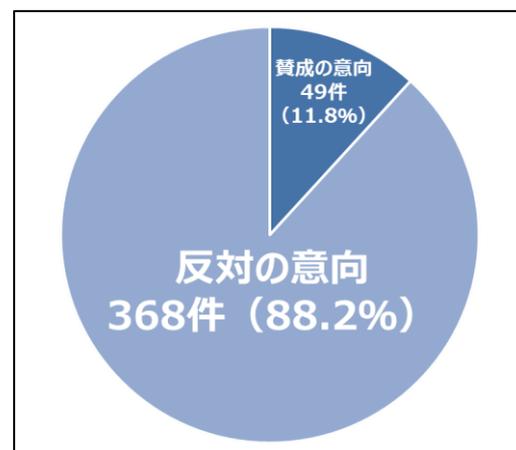
○ 今回の変更計画案に賛成

- ・ 選手の健康と安全を考慮して、札幌で行うべき
- ・ 都内に一極集中しているから、地方のことも考えるべき

○ 今回の変更計画案に反対

- ・ 東京都でマラソンを見たい。小池知事には頑張ってもらって、マラソンを東京に戻してもらいたい
- ・ 札幌に変更すると、都の税金やテストイベントが無駄になる
- ・ もし札幌で行うなら、都はI O C・組織委員会に費用負担を求めるべき
- ・ マラソン選手は、札幌ドームより新国立でのゴールを望んでいるだろう
- ・ 開催時間を前倒しすべき

【計画の賛否】



○ その他意見・問合せ

- ・ 札幌ではなく、被災地や東京の多摩地区で行うべき
- ・ チケットの払い戻しはどうすればよいのか
- ・ I O Cの対応に不満を感じる

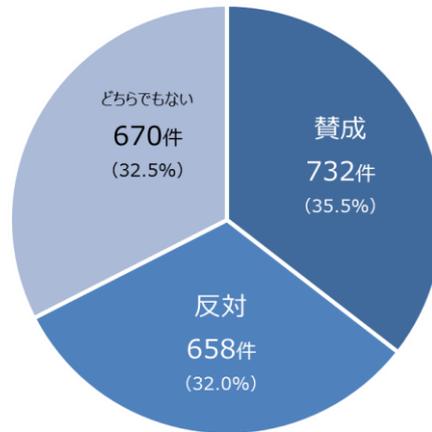
都民アンケート調査結果

<実施期間> : 10月22日(火)~23日(水)

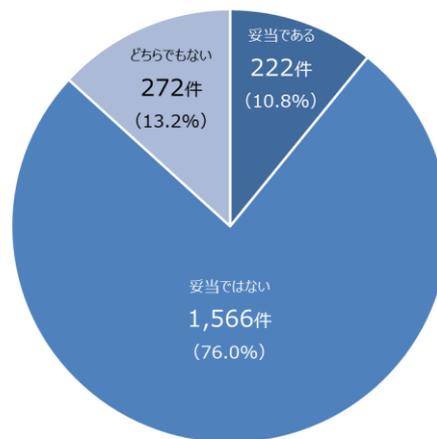
<調査対象> : 20歳以上の都民2,060人

<調査手法> : 世代別・男女均等にインターネットで調査を実施

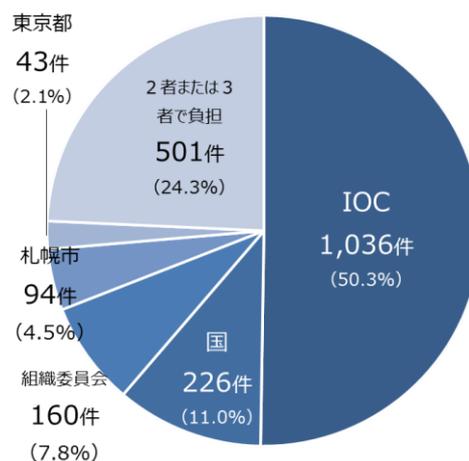
1 マラソン・競歩の会場を東京から札幌に変更することをどう思いますか



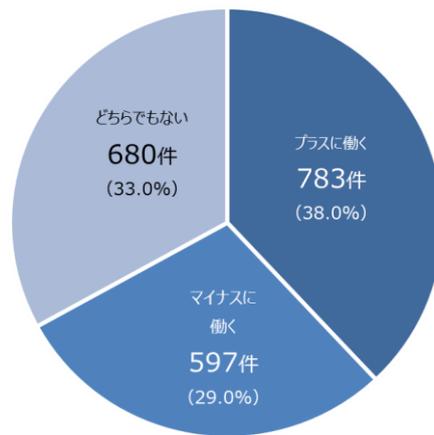
2 今回の会場変更の提案は、開催都市である東京都をはじめ、国民・都民・選手などに知らされないまま進められてきました。今回の会場変更に関するプロセスは妥当だと思いますか



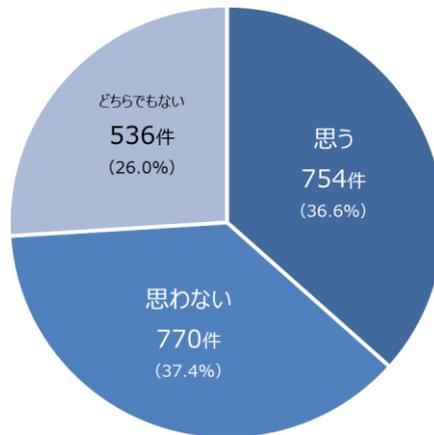
3 会場が札幌に変更になった場合、開催費用は誰が負担すべきだと思いますか



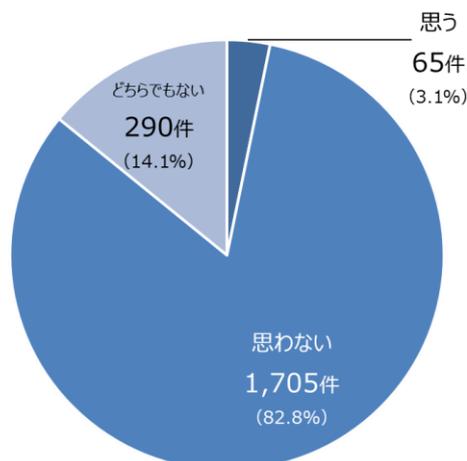
4 今回の会場変更の提案は、アスリートにとってどう働くと思いますか



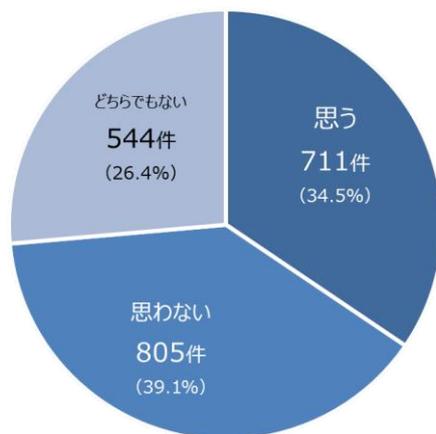
5 マラソン・競歩の会場が東京のままだったら、競技を見に行きたいと思いますか



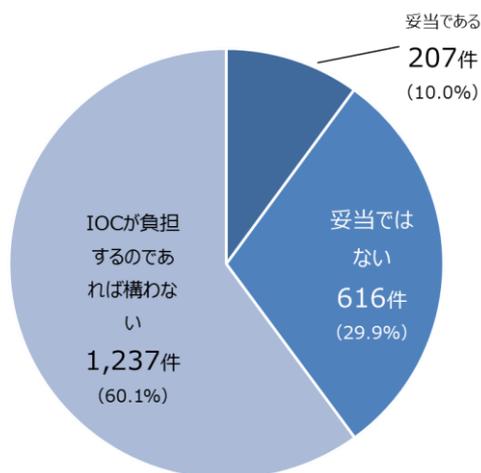
6 マラソン・競歩の会場が札幌に変更になったら、競技を見に行きたいと思いますか



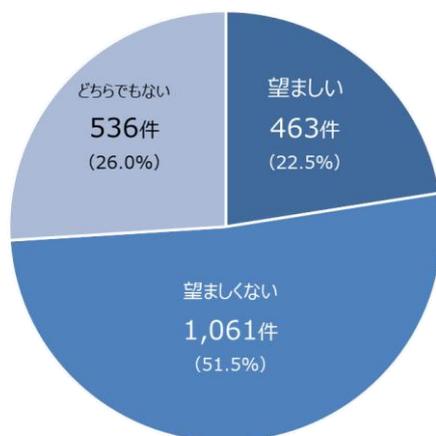
7 会場を札幌に変更した場合、セキュリティなどさまざまな面において間に合わせる事ができると思いますか



8 IOCは開催に係る経費の縮減を訴えていますが、今回の提案により経費が増えるとしたら、札幌への変更案をどう思いますか



9 会場変更をする場合、現場では短期間での対応を求められるため、運営、会場設営などさまざまな分野の方々に負担をかけることになりますが、その場合でも会場を変更するほうが望ましいと考えますか



会場変更の事例等について

1 これまでの会場変更の例 ―東京 2020 大会の競歩会場の場合―

- ・ 2013 年 1 月 IOC へ立候補ファイル提出
(オリンピックスタジアム/青山通り周回コース)
- ・ 2016 年 10 月 NF から周回路と競技場の距離について指摘があり、IF と協議した結果、組織委員会・都がコースを再検討
- ・ 2017 年 5 月 5 月に IF Visit があり、IF と協議した結果、皇居外苑への会場変更について IF が了承
- ・ 2018 年 2 月 組織委員会が IOC 理事会に提案し、競歩の会場変更が了承
- ・ 2018 年 5 月 競歩のコースが決定⇒競歩のコースを公表

2 「開催都市契約」におけるオリンピック会場変更に関する規定

35. オリンピック会場

開催都市と NOC が本大会開催の申請にて提案した、オリンピック会場(競技会場、オリンピック選手村、国際放送センター(IBC)/メインプレスセンター(MPC)、セレモニー会場など)の定員、内容、場所、構造(恒久的か暫定的かを問わない)、および建設スケジュールは、IOC の書面による事前承認なしに変更することはできない。競技会場に関する変更を行う場合は、関係する IF とも協議しなければならない。本件に関する詳細情報は、「会場に関するテクニカルマニュアル」と「競技会場の設計基準に関するテクニカルマニュアル」に示されている。